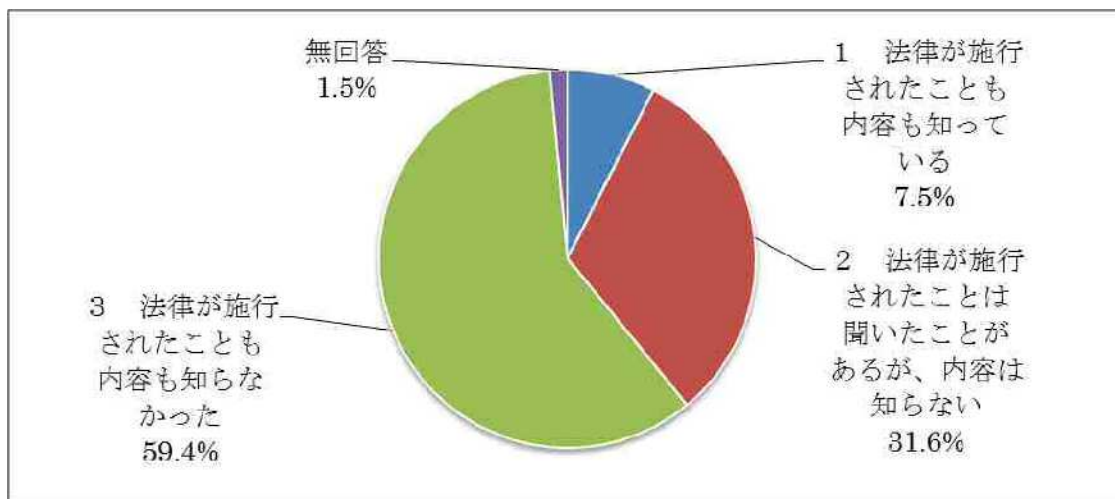


【障害者差別解消法の周知】

問11 平成28年4月1日、障害を理由とする差別を禁止して、障害のない人との平等な機会や待遇を保障するために「障害者差別解消法」が施行されました。

この法律は、差別を解消するための措置として、国・地方公共団体等及び民間事業者に対して「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」が義務付けられています。

あなたは、「障害者差別解消法」をご存知ですか（○は1つだけ）



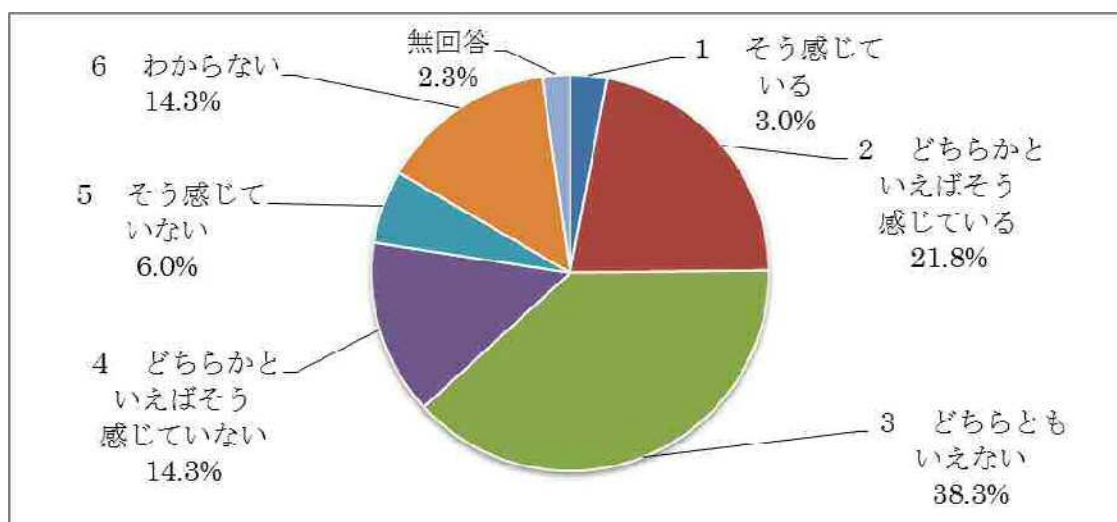
		回答者数	1 法律が施行されたことも内容も知っている	2 法律が施行されたことは聞いたことがあるが、内容は知らない	3 法律が施行されたことも内容も知らなかった	無回答
全体		133 人	7.5%	31.6%	59.4%	1.5%
性別	男性	46 人	10.9%	43.5%	45.7%	0.0%
	女性	87 人	5.7%	25.3%	66.7%	2.3%
年齢別	20 歳代	14 人	7.1%	28.6%	64.3%	0.0%
	30 歳代	19 人	10.5%	15.8%	73.7%	0.0%
	40 歳代	24 人	8.3%	25.0%	66.7%	0.0%
	50 歳代	20 人	15.0%	35.0%	50.0%	0.0%
	60 歳代	29 人	3.4%	31.0%	62.1%	3.4%
	70 歳以上	27 人	3.7%	48.1%	44.4%	3.7%
区別	門司区	16 人	6.3%	37.5%	50.0%	6.3%
	小倉北区	23 人	4.3%	30.4%	65.2%	0.0%
	小倉南区	28 人	10.7%	17.9%	71.4%	0.0%
	若松区	14 人	7.1%	42.9%	50.0%	0.0%
	八幡東区	11 人	9.1%	9.1%	81.8%	0.0%
	八幡西区	32 人	6.3%	40.6%	50.0%	3.1%
	戸畑区	9 人	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%

障害者差別解消法について知っているかについては、法律について知っているとの回答は、「法律が施行されたことも内容も知っている」（7.5%）、「法律が施行されたことは聞いたことがあるが、内容を知らない」（31.6%）を合わせて39.1%に留まっており、「法律が施行されたことも内容も知らなかった」（59.4%）の方が、約20ポイント上回った。

【障害のある人の人権の尊重】

問12 北九州市では、障害や障害のある人に対する正しい理解を深め、障害の有無にかかわらず、相互に権利を尊重できる社会を実現するため、行政だけでなく地域・学校・企業など様々な機会をとらえた市民啓発を推進しています。そこで、おたずねします。

北九州市では、障害や障害のある人に対する正しい理解が浸透し、不当な差別的取扱いの無い、合理的な配慮が提供される社会になったと感じますか（〇は1つだけ）

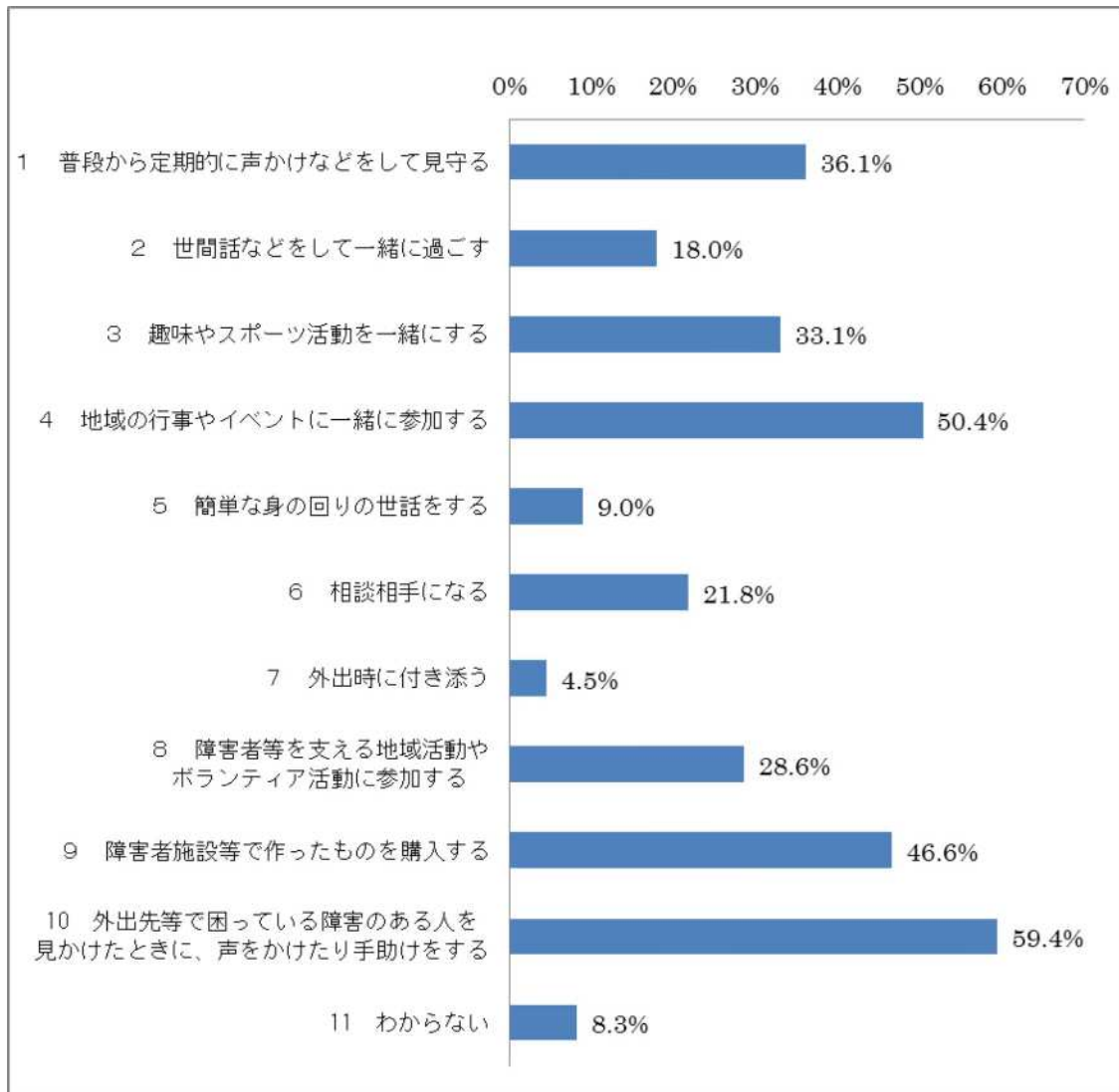


		回答者数	1 そう感じている	2 どちらかといえばそう感じている	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう感じている	5 そう感じている	6 わからない	無回答
全体		133 人	3.0%	21.8%	38.3%	14.3%	6.0%	14.3%	2.3%
性別	男性	46 人	2.2%	21.7%	34.8%	21.7%	8.7%	10.9%	0.0%
	女性	87 人	3.4%	21.8%	40.2%	10.3%	4.6%	16.1%	3.4%
年齢別	20 歳代	14 人	0.0%	21.4%	28.6%	21.4%	7.1%	21.4%	0.0%
	30 歳代	19 人	5.3%	15.8%	31.6%	10.5%	15.8%	21.1%	0.0%
	40 歳代	24 人	0.0%	29.2%	41.7%	16.7%	0.0%	12.5%	0.0%
	50 歳代	20 人	0.0%	15.0%	55.0%	20.0%	5.0%	5.0%	0.0%
	60 歳代	29 人	3.4%	24.1%	31.0%	17.2%	10.3%	6.9%	6.9%
	70 歳以上	27 人	7.4%	22.2%	40.7%	3.7%	0.0%	22.2%	3.7%
区別	門司区	16 人	6.3%	25.0%	12.5%	12.5%	6.3%	31.3%	6.3%
	小倉北区	23 人	4.3%	17.4%	43.5%	17.4%	4.3%	13.0%	0.0%
	小倉南区	28 人	0.0%	32.1%	42.9%	17.9%	3.6%	3.6%	0.0%
	若松区	14 人	0.0%	7.1%	42.9%	14.3%	21.4%	14.3%	0.0%
	八幡東区	11 人	9.1%	9.1%	45.5%	9.1%	0.0%	27.3%	0.0%
	八幡西区	32 人	3.1%	21.9%	37.5%	9.4%	6.3%	15.6%	6.3%
	戸畑区	9 人	0.0%	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%

障害や障害のある人に対する正しい理解が浸透してきたと感じるかについては、「そう感じている」(3.0%)、「どちらかといえばそう感じている」(21.8%)を合わせた24.8%が肯定的な回答で、「どちらかといえばそう感じている」(14.3%)、「そう感じている」(6.0%)を合わせた20.3%が否定的な回答であり、肯定的な回答が否定的な回答を4.5ポイント上回った。一方で、「どちらともいえない」の回答が38.3%と高くなっている。

3. 共生社会を実現するための取り組みについて

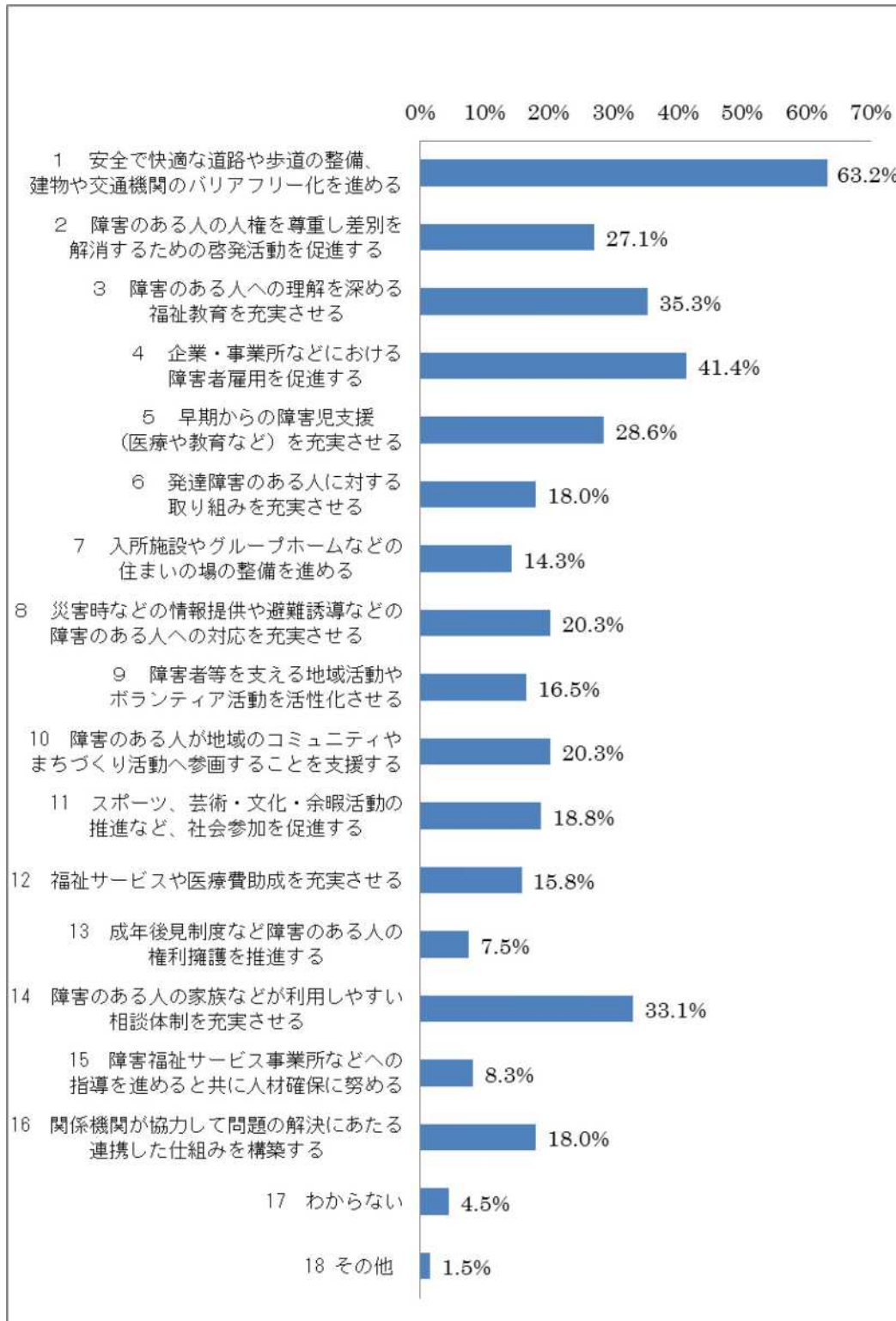
問13 北九州市では、障害の有無にかかわらず、すべての市民が、互いの人格や個性を尊重し合いながら、安心していきいきと暮らすことのできる共生のまちづくりを目指しています。今後、地域で生活する障害のある人とかかわっていく中で、あなた自身が地域の一員としてできると思うことは何ですか。次の中から、あてはまるものを選んでください（〇はいくつでも）。



		回答者数	1 普段から定期的に声かけなどを見守る	2 世間話などをして一緒に過ごす	3 趣味やスポーツ活動をする	4 地域の行事やイベントと一緒に参加する	5 簡単な身の回りの世話をする	6 相談相手になる	7 外出時に付き添う	8 障害者等を支える地域活動やボランティア活動に参加する	9 障害者施設等で作ったものを購入する	10 外出先等で声をかけたり手助けをする	11 わからない
全体		133 人	36.1%	18.0%	33.1%	50.4%	9.0%	21.8%	4.5%	28.6%	46.6%	59.4%	8.3%
性別	男性	46 人	34.8%	21.7%	45.7%	56.5%	4.3%	23.9%	6.5%	34.8%	39.1%	50.0%	15.2%
	女性	87 人	36.8%	16.1%	26.4%	47.1%	11.5%	20.7%	3.4%	25.3%	50.6%	64.4%	4.6%
年齢別	20 歳代	14 人	21.4%	7.1%	28.6%	21.4%	14.3%	14.3%	0.0%	21.4%	50.0%	57.1%	14.3%
	30 歳代	19 人	15.8%	10.5%	31.6%	57.9%	5.3%	10.5%	0.0%	31.6%	57.9%	57.9%	10.5%
	40 歳代	24 人	41.7%	29.2%	41.7%	50.0%	8.3%	16.7%	8.3%	20.8%	45.8%	58.3%	4.2%
	50 歳代	20 人	25.0%	20.0%	25.0%	35.0%	20.0%	35.0%	15.0%	25.0%	40.0%	50.0%	20.0%
	60 歳代	29 人	48.3%	17.2%	34.5%	72.4%	6.9%	24.1%	3.4%	41.4%	51.7%	69.0%	0.0%
	70歳以上	27 人	48.1%	18.5%	33.3%	48.1%	3.7%	25.9%	0.0%	25.9%	37.0%	59.3%	7.4%
区別	門司区	16 人	25.0%	25.0%	37.5%	43.8%	6.3%	18.8%	6.3%	18.8%	25.0%	50.0%	18.8%
	小倉北区	23 人	30.4%	4.3%	39.1%	43.5%	4.3%	21.7%	4.3%	43.5%	65.2%	65.2%	8.7%
	小倉南区	28 人	39.3%	17.9%	46.4%	57.1%	0.0%	21.4%	7.1%	35.7%	35.7%	57.1%	10.7%
	若松区	14 人	28.6%	28.6%	42.9%	64.3%	7.1%	28.6%	7.1%	35.7%	50.0%	50.0%	14.3%
	八幡東区	11 人	63.6%	27.3%	9.1%	36.4%	18.2%	36.4%	0.0%	0.0%	36.4%	63.6%	0.0%
	八幡西区	32 人	28.1%	15.6%	21.9%	56.3%	15.6%	21.9%	3.1%	25.0%	53.1%	65.6%	3.1%
	戸畑区	9 人	66.7%	22.2%	22.2%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	55.6%	55.6%	0.0%

共生社会を実現するにあたって、あなた自身が地域の一員としてできると思うことは何かについては、「外出先等で困っている障害のある人を見かけたときに、声をかけたり手助けをする」(59.4%)の割合が最も高く、次いで「地域の行事やイベントと一緒に参加する」(50.4%)、「障害者施設等で作ったものを購入する」(46.6%)の順となっている。

問14 あなたは、障害福祉施策を充実させるために北九州市が取り組むもののうち、今後、特に力を入れるべき取り組みは何だと思いませんか。次の中から、あてはまるものを選んでください（〇は5つまで）。



※ 設問の回答選択肢は以下のとおり

11 スポーツやレクリエーション、芸術・文化・余暇活動の推進など、障害のある人の社会参加を促進する

		回答者数	1 安全で快適なバリアフリー化を進める	2 差別解消の啓発活動を促進する	3 福祉教育を充実させる	4 障害者雇用を促進する	5 早期からの障害児支援の充実	6 発達障害の取り組みの充実	7 住まいの場の整備を進める	8 災害時などの情報提供や避難誘導の充実	9 地域活動やボランティア活動の活性化
全体		133 人	63.2%	27.1%	35.3%	41.4%	28.6%	18.0%	14.3%	20.3%	16.5%
性別	男性	46 人	65.2%	45.7%	32.6%	43.5%	19.6%	13.0%	19.6%	23.9%	21.7%
	女性	87 人	62.1%	17.2%	36.8%	40.2%	33.3%	20.7%	11.5%	18.4%	13.8%
年齢別	20 歳代	14 人	50.0%	0.0%	42.9%	42.9%	35.7%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%
	30 歳代	19 人	31.6%	21.1%	52.6%	21.1%	26.3%	31.6%	0.0%	10.5%	15.8%
	40 歳代	24 人	75.0%	16.7%	37.5%	41.7%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	20.8%
	50 歳代	20 人	70.0%	25.0%	35.0%	30.0%	55.0%	15.0%	20.0%	20.0%	5.0%
	60 歳代	29 人	75.9%	37.9%	34.5%	55.2%	31.0%	13.8%	10.3%	31.0%	24.1%
	70 歳以上	27 人	63.0%	44.4%	18.5%	48.1%	7.4%	22.2%	25.9%	25.9%	14.8%
区別	門司区	16 人	62.5%	18.8%	37.5%	25.0%	25.0%	0.0%	12.5%	12.5%	6.3%
	小倉北区	23 人	65.2%	30.4%	30.4%	43.5%	39.1%	30.4%	8.7%	8.7%	13.0%
	小倉南区	28 人	50.0%	32.1%	32.1%	46.4%	28.6%	10.7%	10.7%	25.0%	25.0%
	若松区	14 人	64.3%	42.9%	28.6%	35.7%	14.3%	7.1%	7.1%	35.7%	14.3%
	八幡東区	11 人	45.5%	27.3%	45.5%	27.3%	36.4%	36.4%	9.1%	18.2%	9.1%
	八幡西区	32 人	68.8%	18.8%	34.4%	46.9%	28.1%	25.0%	25.0%	15.6%	21.9%
	戸畑区	9 人	100.0%	22.2%	55.6%	55.6%	22.2%	11.1%	22.2%	44.4%	11.1%

		回答者数	10 まちづくり活動参画への支援	11 スポーツなど、社会参加を促進する	12 福祉サービスや医療費助成を充実させる	13 障害のある人の権利擁護を推進する	14 相談体制を充実させる	15 サービス事業所などへの指導と人材確保	16 連携した仕組みの構築	17 わからない	18 その他
全体		133 人	20.3%	18.8%	15.8%	7.5%	33.1%	8.3%	18.0%	4.5%	1.5%
性別	男性	46 人	23.9%	17.4%	17.4%	4.3%	30.4%	8.7%	19.6%	6.5%	2.2%
	女性	87 人	18.4%	19.5%	14.9%	9.2%	34.5%	8.0%	17.2%	3.4%	1.1%
年齢別	20 歳代	14 人	14.3%	14.3%	14.3%	7.1%	28.6%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
	30 歳代	19 人	15.8%	21.1%	10.5%	15.8%	47.4%	5.3%	10.5%	15.8%	5.3%
	40 歳代	24 人	20.8%	25.0%	16.7%	4.2%	33.3%	4.2%	12.5%	0.0%	0.0%
	50 歳代	20 人	10.0%	20.0%	20.0%	10.0%	25.0%	10.0%	20.0%	5.0%	0.0%
	60 歳代	29 人	31.0%	3.4%	17.2%	6.9%	34.5%	20.7%	27.6%	0.0%	0.0%
	70 歳以上	27 人	22.2%	29.6%	14.8%	3.7%	29.6%	3.7%	25.9%	3.7%	3.7%
区別	門司区	16 人	6.3%	6.3%	18.8%	6.3%	18.8%	18.8%	18.8%	12.5%	6.3%
	小倉北区	23 人	17.4%	21.7%	30.4%	8.7%	39.1%	8.7%	17.4%	4.3%	0.0%
	小倉南区	28 人	28.6%	21.4%	10.7%	10.7%	25.0%	14.3%	10.7%	0.0%	0.0%
	若松区	14 人	21.4%	35.7%	0.0%	0.0%	35.7%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%
	八幡東区	11 人	9.1%	18.2%	0.0%	9.1%	45.5%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%
	八幡西区	32 人	25.0%	18.8%	15.6%	9.4%	37.5%	6.3%	21.9%	3.1%	0.0%
	戸畑区	9 人	22.2%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%

年代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1位	安全で快適な道路や歩道の整備、建物や交通機関のバリアフリー化を進める	障害のある人への理解を深める福祉教育を充実させる	安全で快適な道路や歩道の整備、建物や交通機関のバリアフリー化を進める	安全で快適な道路や歩道の整備、建物や交通機関のバリアフリー化を進める	安全で快適な道路や歩道の整備、建物や交通機関のバリアフリー化を進める	安全で快適な道路や歩道の整備、建物や交通機関のバリアフリー化を進める
2位	障害のある人への理解を深める福祉教育を充実させる	障害のある人の家族などが利用しやすい相談体制を充実させる	企業・事業所などにおける障害者雇用を促進する	早期からの障害児支援（医療や教育など）を充実させる	企業・事業所などにおける障害者雇用を促進する	企業・事業所などにおける障害者雇用を促進する
3位	企業・事業所などにおける障害者雇用を促進する	安全で快適な道路や歩道の整備、建物や交通機関のバリアフリー化を進める	障害のある人への理解を深める福祉教育を充実させる	障害のある人への理解を深める福祉教育を充実させる	障害のある人の人権を尊重し差別を解消するための啓発活動を促進する	障害のある人の人権を尊重し差別を解消するための啓発活動を促進する
4位	早期からの障害児支援（医療や教育など）を充実させる	発達障害のある人に対する取り組みを充実させる	障害のある人の家族などが利用しやすい相談体制を充実させる	企業・事業所などにおける障害者雇用を促進する	障害のある人への理解を深める福祉教育を充実させる	スポーツ、芸術・文化・余暇活動の推進など、社会参加を促進する
5位	障害のある人の家族などが利用しやすい相談体制を充実させる	早期からの障害児支援（医療や教育など）を充実させる	早期からの障害児支援（医療や教育など）を充実させる	障害のある人の人権を尊重し差別を解消するための啓発活動を促進する	障害のある人の家族などが利用しやすい相談体制を充実させる	障害のある人の家族などが利用しやすい相談体制を充実させる
			スポーツ、芸術・文化・余暇活動の推進など、社会参加を促進する	障害のある人の家族などが利用しやすい相談体制を充実させる		

北九州市が特に力を入れるべき取り組みは何かについて、「安全で快適な道路や歩道の整備、建物や交通機関のバリアフリー化を進める」（63.2%）の割合が最も高く、次いで「企業・事業所などにおける障害者雇用を促進する」（41.4%）、「障害のある人への理解を深める福祉教育を充実させる」（35.3%）の順となっている。

世代別にみると、全世代共に「安全で快適な道路や歩道の整備、建物や交通機関のバリアフリー化を進める」や「企業・事業者などにおける障害者雇用を促進する」の順位が高く、若い世代は、「障害のある人への福祉教育を充実させる」や「早期からの障害児支援（医療や教育など）を充実させる」の順位が高い。また、高齢者は「障害のある人の人権を尊重し差別を解消するための啓発活動を推進する」の順位が高い傾向にある。